

構造工学における有限要素法の基礎と応用講習会



JSCE17-0621

— 平成 29 年 10 月 12 日（木）、13 日（金） 土木会館（東京都新宿区） —

<p>主催 : 公益社団法人 土木学会 (担当/構造工学委員会継続教育小委員会)</p> <p>共催 : 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 関東支部 一般社団法人 日本橋梁建設協会 一般社団法人 日本建設業連合会土木本部 一般社団法人 プレストレスト・コンクリート建設業協会</p> <p>開催日 : 平成 29 年 10 月 12 日（木）、13 日（金）</p> <p>会場 : 土木学会「土木会館」2 階 講堂 東京都新宿区四谷 1 丁目（外濠公園内） JR 中央線「四ツ谷」駅下車、徒歩 3 分</p> <p>定員 : 100 名</p> <p>CPD 単位 : 12 単位（2 日間）</p>	<p>参加費 : 会員 8,000 円, 非会員 11,000 円, 学生 1,000 円 (当日申込 会員 10,000 円, 非会員 13,000 円, 学生 3,000 円)</p> <p>テキスト : 「構造工学における有限要素法の基礎と応用 改訂版」, 講義用資料 (テキスト類は事前に Web 配布します。各自で小委員会ホームページよりダウンロードしてご持参下さい)</p> <p>申込方法 : 土木学会ホームページよりお申し込みください。受付後、「参加券」および「事前 Web 配付案内」をお送りいたします。</p> <p>申込締切 : 平成 29 年 9 月 29 日（金）(定員に余裕がある場合には当日会場で受付いたします)</p>
---	---

構造工学委員会継続教育小委員会では、土木技術者が新しい知識・技術を恒常的に獲得し更新することを期待し、構造工学分野の有限要素法に関する講習会を企画しました。有限要素法は、すでに基本的な解析ツールとして設計者・研究者に広く利用されています。本講習会では、主に有限要素法を利用してまだ経験が少ない方、あるいはこれから利用しようとする技術者・学生の方々を対象として、有限要素法の基礎理論、解析方法、コンクリート材料への適用やコンクリート橋・鋼橋・地下構造物への適用例など最新の解析事例まで、有限要素法に関する幅広い知識をわかりやすく提供いたします。多くの方々の参加をお待ちしております。

【プログラム】

10 月 12 日（木）

10:30 -10:40	講習会概要	継続教育小委員会 委員長	中村一史
10:40 -12:00	有限要素法の基礎理論	茨城大学	車谷麻緒
13:00 -14:00	有限要素法の基礎理論(続き)	茨城大学	車谷麻緒
14:10 -15:10	有限要素法プログラムの構成	株式会社 C4	吉村信敏
15:20 -16:40	有限要素法プログラムの入出力	株式会社 C4	吉村信敏
16:50 -17:50	橋梁の動的解析	京都大学大学院	松村政秀

10 月 13 日（金）

9:00 -10:00	コンクリートの有限要素法へのモデル化	清水建設株式会社	長谷川俊昭
10:10 -11:10	コンクリート橋への有限要素法の適用	三井住友建設株式会社	紙永祐紀
11:20 -12:20	鋼橋の FEM 解析およびリダンダンシー解析	宮地エンジニアリング株式会社	永谷秀樹
13:20 -14:20	非線形解析の理論と実際	首都大学東京	中村一史
14:30 -15:30	地下構造物の設計への有限要素法の適用	JIP テクノサイエンス株式会社	井上 洋
15:40 -16:40	地盤と構造物への有限要素法の適用	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社	松浦 敦
16:40 -16:50	講習会総括	継続教育小委員会	白旗弘実

